

ロータリーを高めよ
思いを尽くし熱意を尽くし

Paul V.C. Costa

1990-1991年度 国際ロータリー会長
第264地区ガバナー

パウロV.C.コスタ
大丸鑑明



海南東ロータリークラブ 第264地区 Kainan East Rotary Club

事務所 〒642 海南市日方1294 海南商工会議所内

TEL (0734)83-0800 FAX (0734)82-7370

例会日 毎週月曜日 12時30分 ♣オ1例会のみ 18時30分

於 海南商工会議所4F

会長 奥村 匡敏 幹事 広野 旭 SAA 田村 能孝

会報委員会 ◎谷口 誠也 ○岩本 吉平 岸 義朗

向井 久佳 山野 明 土井 元司

オ757回 例会 平成3年2月25日(月) 午後12時30分 於 海南商工会議所

1. 開 会 点 鐘 奥村匡敏 会長

2. ロータリーソング「我等の生業」

3. 出席率の報告 会員総数 71名 出席者数 49名 出席率 72.06%

前回修正出席率 82.61%

4. 会長スピーチ 奥村匡敏 会長

皆さん今日は、先週末からこの冬一番の寒波とのこと、そのせいか今日は欠席者が多い感じがします。くれぐれも身体には気をつけて下さい。先週は欠席しましたので報告が遅れたのですが、2月16日に和歌山中RC5周年式典に出席してきました。その式典は非常に盛大なもので(去年出席させていただいた岩出RCの式典も盛大でございました)和歌山では唯一の全部夜間例会で行うクラブで、テリトリーは和歌山全域だそうです。33名で発足、5年で55名、多い年で14名が増強されたとのこと。発足して5年にしては非常に活発に行なわれ、特にニコニコ箱の利用が盛んでおどろきました。本年は記念式典が多く、このあと4ヶ所ほど案内がきています。その記念式典案内の中で記念ゴルフがありますが、参加に皆さんのご理解よろしくおねがいます。

5. 幹事報告

○メーカーシップ

2/20 新垣 勝君(海南RC)

- ◎日本リュウマチ財団・日本整形外科学会（リュウマチ認定医）下肢痛
整形外科をおとずれることが多い。
- ◎治療は医師まかせ、服薬は患者まかせではダメ。
医者と患者の双方が痛風に対する十分な理解を持ち一心同体になって長期の心
がまえで加療にあたる。
- ◎高尿酸血症をきたすのに
 - 産生過剰型—産生抑制剤
 - 排泄低下型—排泄促進剤
- ◎尿酸クリアランス試験—スポット尿検査で簡単に区別
 - 産生過剰型—2割
 - 排泄低下型—6割
 - 混合型—2割
- ◎高尿酸血症 薬物療法コルヒチン→痛風発作の予感に使用
消炎鎮痛剤の衝撃大量療法 3×3×3 投与方法
- ◎食事療法 ○プリン体を多く含む食品（ホルモン類・肉類・ひかえる） ×
○アルコール類 ×
- ◎誘因の回避 高プリン食・飲酒・過冷・過労・打撲・外傷・ストレス
- ◎高尿酸血症を起こす薬剤 降圧剤
- ◎痛風といかに上手につきあうか。 恐い病気ではない。

情報抄録より

善行の背後に

「ロータリーのなかにあるもの、それは善行だけではありません。善行という
のは、その下にかくされた何ものかが外に姿を現わしたにすぎないのです。この
世界でもっとも強い力のなかには、目に見えないものもあります。人間には電気
はもちろん見えませんが、これが工業の機械を動かしているのです。引力も目
に見えませんが、これが私たちの呼吸する空気にせよ、目には見えませんが、私たちの生命
をささえてくれるのです…ロータリーのたくさんの善行のおかげにも、目に見えな
い力が働いているのです。それは善意の力であり、その善意の力によってロータ
リーは存在しているのです。友情は相手にとって福音となります」。

—ポール・ハリス「ロータリーへの私の道」より

ニコニコ・米山・ポリオプラス・BOX

- 土井 元司君 息子が高校合格。
- 広野 旭君 西川君にお世話になりました。
- 山東 剛一君 うれしいことありました。
- 田村 能孝君 32年ぶりに高校同窓会開きました。
- 奥村 匡敏君 先週久しぶり旅行しました。（倉橋君にお世話になりました）
- 辻 秀輝君 今日卓話します。
- 中村 文雄君 山東君にお世話になりました。